

穂積中学校 卒業式 祝辞

春の訪れを感じる今日の佳き日に、穂積中学校卒業証書授与式が挙行されましたことを、心よりお慶び申し上げます。

卒業生271名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

保護者の皆様、手塩にかけてこられたお子さんの姿、とても立派に成長され頼もしく感じておられると思います。義務教育の修了という1つの通過点ではありますが、ご卒業、誠におめでとうございます。

小川校長先生はじめ、教職員の先生方、5類感染症に移行したとはいえ、コロナウイルス感染症のなか、今日までのご指導にお礼を申し上げます。

卒業生の皆さんは、この中学校生活をふり返ると、コロナ禍での入学に始まり、学校生活、学校行事、部活動など、すべてにおいて中止や延期など大きな影響を受けてしまいましたが、団結力を高めて取り組んでくれました。

先日、佐野教頭先生に、この学年のスローガンは何か、とお尋ねしたところ、“未来を創る会”で学年代表が話した資料を見せてくださいました。拝見すると、この学年は、「責任をもち、姿で示しきる」ことで、常に自分事として捉え、考えや思いを自分の姿で示すことは必ず壁にぶつかる、自分と友達とでは考え方の違いや示し方が異なり、そのたびに友達との思いを伝えあうことができ、それが全学年の姿となっているんだなと感じました。

後輩たちに「姿で示す」ということは、穂積中学校の文化として、いつまでも変わらないものになると思います。

皆さんが、この3年間で積み上げてきた「仲間の大切さ」は、今はまだ気がつかないかもしれませんが、きっと今後、皆さんの力となり、最大の宝となります。

皆さんに、2つのことをお話しします。中学校の卒業式でお話しすることは毎年ほぼ同じ内容です。私は、世の中には変わってもいいもの、変わってはいけないものがあると思います。卒業式で皆さんに贈る言葉は変わってはいけないものと、私はしています。

1つ目は、皆さんは、これからそれぞれの目標に向かい進んでいけます。

アメリカ大リーグで大活躍している大谷翔平選手のことをお話しします。彼は、高校1年生から自分の夢や目標を達成するために、目標達成シートをつくり、考えて行動しました。シートは、縦に9コマ、横に9コマ、計81マスからなり、真ん中に「大きな夢」を書きあげ、その周囲に夢を達成するための目標を8つ記入し、さらに具体的な目標を書きあげ、やるべきことを明確にしました。私は、皆さんに「自分の夢」を達成してもらいたいです。そのためには、その夢に向かい「何をすべきか」を考えてもらいたいです。

2つ目は、私が卒業した大学は、曹洞宗の開祖である道元禅師の教えを受け継いでいます。その教えの一つに「花、紅にして、美なりと言えども、独り開くにあらず、春風を得て開くなり」とあります。皆さんは、これからの人生のなかで、多くの花を咲かせると思います。それは勿論、自らの努力の賜物でもありますが、励ましてくれた多くの人の支えもあります。それはご両親であり、家族であり、先生であり、地域の方々だと思えます。ぜひ「感謝」を忘れずに活躍してもらいたいです。私は、励ましてもらった多くの人々の支えに感謝し、自らの夢を実現してもらいたいです。

これから先、高校、大学、就職と、瑞穂市を離れて東京や大阪などの大都市、全国あるいは世界で活躍されると思います。瑞穂市を離れても、ふるさと瑞穂を思う心、母校である穂積中学校を大切にすることを願っています。

自分の故郷、瑞穂市そして穂積中はこんなところがいいんだ、と思えることは、故郷の親を想いやる心と同じだと思います。

私は市長として、瑞穂市のまちづくりのなかで、15歳までに「ふるさと瑞穂を思う心」を育てあげ、ウエルビーングみずほ、持続的な幸福の実現に向け進めていきます。そして、私はいつでも皆さんを応援しています。

保護者の皆様、これからは手がかからない分、心に向けてあげてください。卒業生の皆さん、今日は目標への出発の日です。皆さんの輝かしい前途に幸多からんことをご祈念申し上げ、祝辞といたします。